

令和6年度
日本河川教育学会全国大会 第4回福島大会

日本河川教育学会研究発表会

【大会テーマ】

川との豊かなかかわりを創る
—河川教育の未来に向けて—

主催

日本河川教育学会

後援

国土交通省東北地方整備局 福島河川国道事務所
福島県
福島県教育委員会
福島市
福島市教育委員会
公益財団法人 河川財団
ふるさとの川・荒川づくり協議会
公益財団法人中国地域創造研究センター
福島民報社
福島民友新聞社
一般社団法人 東北地域づくり協会



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

令和6年11月9日（土）

会場 コラッセふくしま

〒960-8053 福島県福島市三河南町1-20
電話 024-525-4089



大会日程

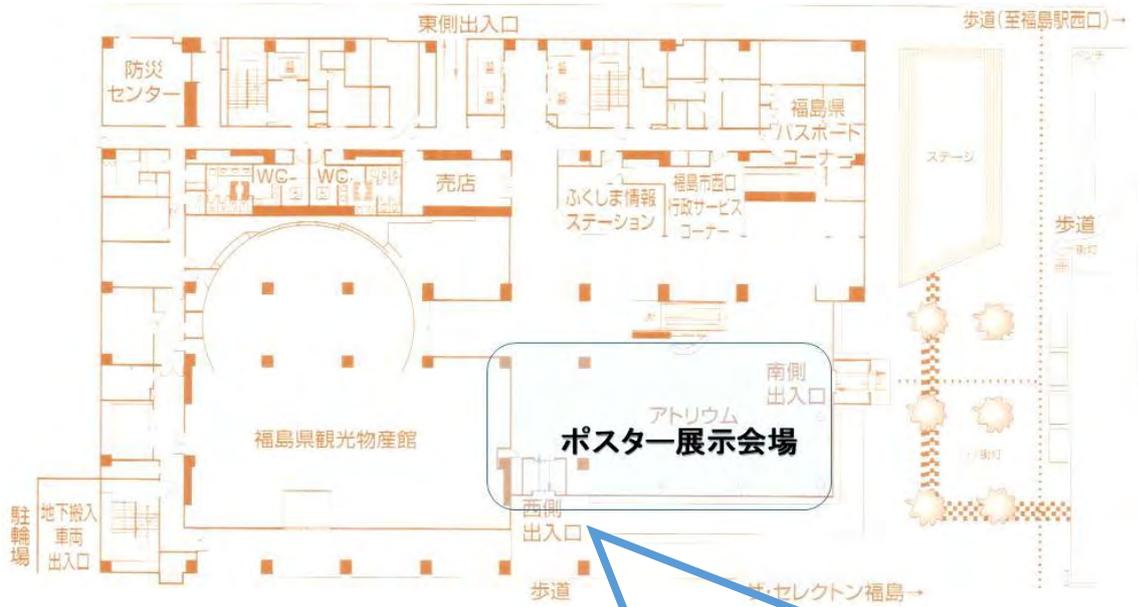
○研究大会プログラム

- 9:30 河川教育屋台村（学校で活用できる河川教育に関する観察・実験の紹介）会場 B
11:00 ポスター発表・1階ホール
12:00 昼食
12:40 Zoom 接続開始・接続確認
13:00 日本河川教育学会 総会
13:20 一般参加者入室（Zoom 接続確認）
13:30 開会にあたって（河川教育学会会長：金沢緑）・会場 A（企画展示室 A/B）
13:40 【シンポジウム】 テーマ「河川教育で育むシステム思考」・会場 A
シンポジスト 岡山大学教育学部特命教授 喜多雅一 氏
国土交通省河川環境調整官 新屋孝文 氏
三重大学教育学部附属小学校教諭 前田昌志 氏
コーディネーター 広島大学名誉教授 角屋重樹 氏
us06web. zoom. us/j/2347499238?pwd=b3gyeHdRWnpSVUUrenJOSXNjbE9jdz09&omn=87009988574
ミーティング ID: 234 749 9238
パスワード: houhou21
- 15:00 休憩
15:10 （ W は Web 発表がある分科会です）
【第1分科会】 5本（研究発表 15分発表 質疑 5分）・会場 A（企画展示室 A/B）
【第2分科会】 6本（研究発表 15分発表 質疑 5分）・会場 B（企画展示室 A/B）
【第3分科会】 5本（研究発表 15分発表 質疑 5分）・会場 C（小会議室 301）
【第4分科会】 5本 W（研究発表 15分発表 質疑 5分）・会場 D（小会議室 302a）
us06web. zoom. us/j/2347499238?pwd=b3gyeHdRWnpSVUUrenJOSXNjbE9jdz09&omn=87009988574
ミーティング ID: 234 749 9238
パスワード: houhou21
【第5分科会】 5本 W（研究発表 15分発表 質疑 5分）・会場 E（小会議室 302b）
us02web. zoom. us/j/8724970840?pwd=SEd2Vm13dFQyN3IxU5Bc3c3eTRLdz09&omn=84257106337
ミーティング ID: 872 497 0840
パスワード: euglena23
- 17:20 終了
17:30 情報交換会

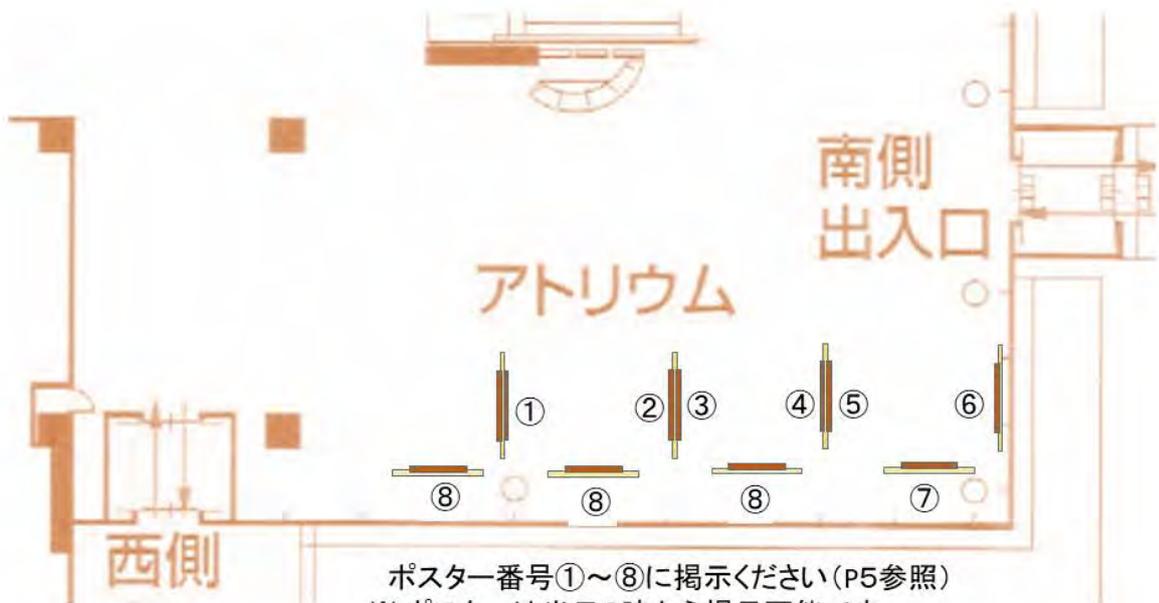
★ウェブ発表の場合、上記 <https://> から始まる URL 等にてご参加ください

コラッセふくしま 会場図

1階

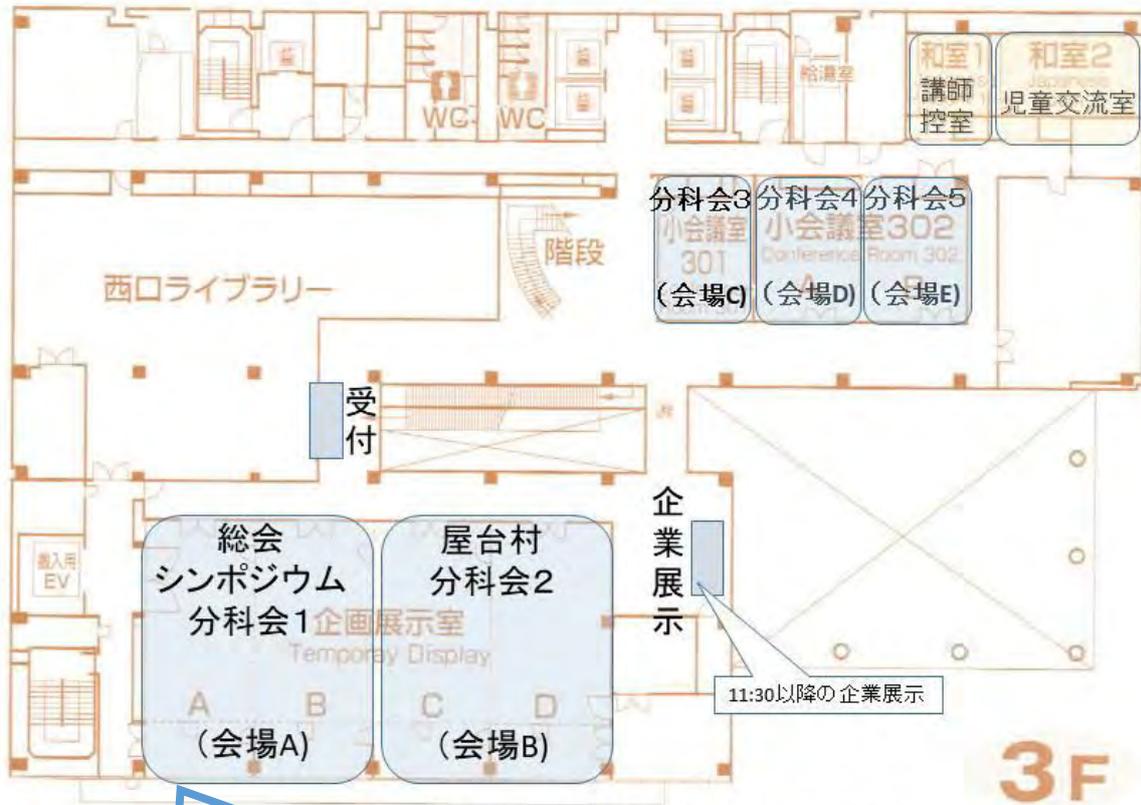


コラッセふくしま1階 アトリウム
ポスターセッション会場



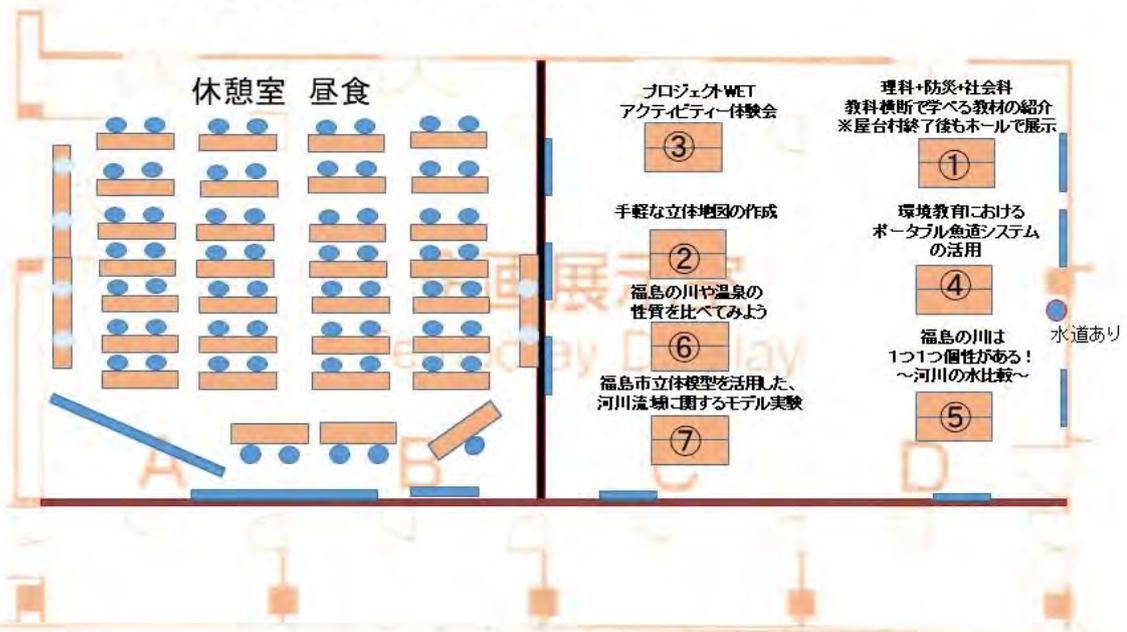
ポスター番号①～⑧に掲示ください(P5参照)
※ポスターは当日8時から掲示可能です。

3階



※ 昼食等は、会場B以外でお取りください。

コラッセふくしま3階 屋台村会場



※ 屋台村は前日17～20時、当日8時から準備可能です。
解説等は壁面に磁石で貼り付けてください。

河川屋台村

(9:30-11:30)

会場 B

- ① 小林 健介 (株式会社ナリカ)
 - 理科+防災+社会科 教科横断で学べる教材の紹介
- ② 荻原 彰 (京都橘大学)
 - 手軽な立体地図の作成
- ③ 菅原 一成 (公益財団法人 河川財団)
 - プロジェクト WET アクティビティ体験会
- ④ 高橋 直己 (国立高専機構 香川高等専門学校)
 - 環境教育におけるポータブル魚道システムの活用
- ⑤ 佐々木 清(輝く猪苗代湖をつくる県民会議)・境 智洋(北海道教育大学釧路校)
 - 福島の川は1つ1つ個性がある！～河川の水比較～
- ⑥ 佐々木 雄一郎 (福島市立大森小学校)
 - 福島の川や温泉の性質を比べてみよう
- ⑦ 野口 卓也 (福島市立三河台小学校)
 - 福島市立体模型を活用した、河川流域に関するモデル実験



ポスター発表

(11:00-12:00)

1階ホール

- ① 渡辺 友美(東海大学)
 - 人々が河川を捉える視点-「巡回企画展 キョクホクの大河」参加型展示の試行より-
- ② 山本 大輔(豊田市矢作川研究所)・深見隆之助(豊田市森林課)
弘中陽介(豊田市環境政策課)
 - 豊田市における流域学習プログラムの実践
- ③ 跡地 紗季(6年生)・山内 将翔(6年生)(三重大学教育学部附属小学校)
 - 学校の池は掃除すべきかー第6学年理科「生物と環境」より
- ④ 坂本 貴啓(金沢大学人間社会研究域地域創造学系)
 - 白山手取川ジオパークの地理的特徴と水教育拠点としての果たす役割
- ⑤ 鈴木 享子(東京学芸大学 環境教育研究センター)
 - 河川整備の違いに着目した都市河川における環境学習フィールドワーク
- ⑥ 金沢 緑(日本河川教育学会)
 - 東海地方における河川教育の普及活動
- ⑦ 佐々木 清(輝く猪苗代湖をつくる県民会議)
 - 青少年を対象にした猪苗代湖における水環境保全学習
- ⑧ 国土交通省東北地方整備局 福島河川国道事務所
 - 福島河川国道事務所における流域治水の広報

日本河川教育学会総会

(13:00-13:30)

会場 A

シンポジウム (13:40-15:00) 会場A

テーマ 『河川教育で育むシステム思考』

シンポジスト

岡山大学教育学部特命教授 喜多雅一 氏
国土交通省河川環境調整官 新屋孝文 氏
三重大学教育学部附属小学校教諭 前田昌志 氏

コーディネーター 広島大学名誉教授 角屋 重樹氏

研究発表 ・ 第1分科会 (15:10-16:00) 会場A

座長 角屋 重樹 発表15分 質疑5分

- ① 菅原 一成 (公益財団法人 河川財団)
 - 学習指導要領に照らした河川・水の学びの工夫
ー学校教育と親和性の高い流域概念の活用ー
- ② 荻原 彰 (京都橘大学)・前田昌志 (三重大学教育学部附属小学校)
 - ドローンとジグソー法を活用した
木曾三川における治水史に関する教材の開発と実践
- ③ 木村 史希 (福島大学教職大学院)
 - 社会的事象の見方・考え方を働かせて課題を解決する社会科の授業づくり
ー第4学年地域教材「三ツ森溜池と用水路をつくった人々」の学びを通してー
- ④ 前田 昌志 (三重大学教育学部附属小学校)
 - システム思考で複雑系を捉える授業
～第6学年理科「生物と環境」より～
- ⑤ 野口 卓也 (福島市立三河台小学校)
 - 河川に対する認識の変容を愉しむ子どもの育成をめざした授業
ー第5学年理科「流れる水の働き」の授業実践を通してー

研究発表・第2分科会 (15:10-16:20) 会場B

座長 境 智洋 発表 15分 質疑5分

- ⑥ 西村 昂輝 (国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所)
 - 福島河川国道事務所における流域治水の広報活動について
- ⑦ 杉浦 淳 (大阪工業大学 知的財産学部)
 - 「淀川学」における「社会のなかの淀川」の取り組み
ー持続可能な開発を実現するための人と自然の関りについての考察ー
- ⑧ 藤江 浩子 (福山市立瀬戸小学校)
 - 河川・水災害に関する情報の検索方法を用いた
避難の判断基準を育む教科関連型授業
- ⑨ 橋本有弥 (三重大学教育学部附属小学校)
 - 4年理科「雨水の行方と地面の様子」から導入する河川防災教育
ー附属小学校に降った雨水はどこへ流れていったのかー
- ⑩ 高田昇一 (一般財団法人 国土技術研究センター)
 - NIPPON 防災資産認定制度の防災教育への利活用
ー災害を自分事化して、災害に備える行動変容に導く「気付き」-
- ⑪ 畑島英史 (長崎県対馬市立佐須奈小学校) 井手弘人 (長崎大学)
清野聡子 (九州大学大学院)
 - 対馬市佐護川における系統的河川教育プログラムの開発

研究発表・第3分科会 (15:10-16:00) 会場C (小会議301)

座長 鳴川 哲也 発表 15分 質疑5分

- ⑫ 関本 慶太 (福島大学附属中学校)
福島大学附属中学校3学年・福島県立橘高等学校2学年
 - 生物指標による河川環境調査を学校ビオトープの活動につなげる教育実践
- ⑬ 北條 佑樹・坂本 貴啓 (金沢大学人間社会学域地域創造学類)
 - 文学作品における河川景観要素の抽出と水辺空間整備に向けた考察
- ⑭ 吉富 友恭 (東京学芸大学)
 - 小さな自然再生と河川の特性のフィールド体験
- ⑮ 小鳥居倭子・坂本 貴啓 (金沢大学人間社会学域地域創造学類)
 - 子どもの水辺の登録状況とポテンシャル評価の試み
- ⑯ 佐藤 真綾 (遊水会)
 - 江花川の水質-19年の変化について

研究発表・第4分科会 (15:10-16:00) 会場D (小会議 302a)

座長 山中 謙司 発表 15分 質疑5分

- ⑰ 真田 誠至 (福山大学)
 - 学芸員養成課程における河川環境学習プログラムの設計
ー幼児を対象にした川遊びを題材にしてー
- ⑱ 長谷 泰昌 (鶴居村立幌呂中学校)・森健一郎 (北海道教育大学釧路校)
 - 水流と植生から、環境をシステムとしてとらえる授業の開発と評価
ー植生景観の観察と環境調査を通してー
- ⑲ 藤村 直哉 (大阪府立高津高等学校)
 - 河川調査における LED を利用した簡易比色計の可能性
- ⑳ 【Web】 山内拓也・舘英樹 (北海道本別町立勇足小学校)
 - へき地・小規模校における河川教育の実践化について
ー河川教育を通じて川の生態系・アイヌの人々の暮らしを考えるー
- ㉑ 【Web】 舘英樹 (日本体育大学大学院教育学研究科)
山内拓也 (北海道本別町立勇足小学校)・境智洋(北海道教育大学釧路校)
 - 河川教育における十勝石の教材化の取組ー河川教育の実践からー

研究発表・第5分科会 (15:10-16:00) 教室E (小会議 302b)

座長 寺木 秀一 発表 15分 質疑5分

- ㉒ 和田 重雄 (日本薬科大学)
 - 河川に流出しうる化学物質の環境影響を自分ごととして検討する理数探究学習
ー生徒の主体的な問題解決能力の育成を目指してー
- ㉓ 橘 淳治 (神戸学院大学)
 - 琵琶湖淀川水系ならびに大和川水系の水質調査
ー高校教員による精密化学分析と教材化ー
- ㉔ 高橋 直己 (国立高専機構 香川高等専門学校)・町田 善康 (美幌博物館)
 - 環境教育におけるポータブル魚道システムの活用
- ㉕ 【Web】 長山定正 (市川学園)
 - 水環境をテーマにした課題研究の授業実践
- ㉖ 谷 保孝・杉浦 淳・三橋雅子・西山由理花・内田浩明・小川芳也 (大阪工業大学工学部)・田中耕司 (河川情報センター)
 - 「淀川学」における地学分野の取り組み

エクスカーショ ン 10 日 (9:00-12:00)

(1) エクスカーショ ンの集合場所は、福島駅西口に 8 時 50 分までに集合ください。



(2) エクスカーショ ンの終了時刻は 12 時ですが、交通事情により若干前後する可能性があります。福島駅西口で解散となります。

時 間	次 第	内 容 等
8:30	係員集合	打合せ・配布資料等打合せ ・日本河川教育学会責任者 ・国土交通省 福島河川国道事務所 流域地水課長 秋田桜彩 ・ガイド ふるさとの川・荒川づくり協議会 会長 佐々木秀明 〃 事務局長 高橋 一夫 ・日本河川教育学会
9:00	参加者集合	・受付・資料配布
9:10	バス出発 コース	・主催者挨拶・ ① 福島駅東口→八木田橋→桜堤公園→現在の霞堤(バスにて体感) ※桜堤公園は平成8竣工設計図なしでの施工 ※堤防が不連続
9:20		② 川面の白濁(荒川と須川の合流)→水防林(日の倉橋から見学)→
9:30		③ 地藏原堰堤(T14)下車(説明後自由見学記念写真含む40分)→ ※何のために施工したか?
10:15		④ セブンイレブン地藏原店(休憩10分)
10:25		⑤ 荒川大暗渠砂防堰堤 ※平成18竣工 252m 高さ9m
10:30		⑥ 荒川上中流域 環境 五堰堤(S29)塩川の合流 一堰堤(S12)40分 ※第一堰堤は一番先に出来た堰堤 ※水生生物採取実演
11:10		⑦ 荒川資料室(説明、自由見学、20分)
11:30	バス出発	※ここの20分で時間調整
12:00		福島駅西口バスターミナル、解散